2「実験結果」

力点と支点の位置を変えずに作用点の位置を ア → イ → ウ と変える と，手ごたえはだんだん（　大きく　・　小さく　）なった。

わかったこと

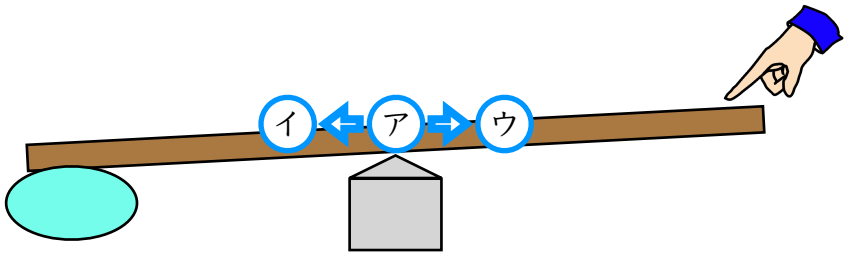
・てこを使ってものを持ち上げるときは，支点から作用点までの長さ（きょり）が（　長い　・　短い　）ほど，小さな力で持ち上げることができる。

支点をうごかす

1「実験の手順」

支点を，ア の位置にしたときの手ごたえをきじゅんに イ と ウ に動かしたときの手ごたえを調べる。

※（　　）点と（　　）点の位置は変えない！



2「実験結果」

① 力点と作用点の位置を変えずに支点の位置を ア → イ と変えると，手ごたえはとても（　大きく　・　小さく　）なった。

どうして … ？

イ では，ア のときより，
支点から力点までの長さが（　長く　・　短く　）なって，さらに，
支点から作用点までの長さが（　長く　・　短く　）なったから！

② 力点と作用点の位置を変えずに支点の位置を ア → ウ と変えると，手ごたえはとても（　大きく　・　小さく　）なった。

ウ では，ア のときより，
支点から力点までの長さが（　長く　・　短く　）なって，さらに，
支点から作用点までの長さが（　長く　・　短く　）なったから！

まとめ

・（　　）… 力を加えている位置
・（　　）… 支えている位置
・（　　）… 力をはたらかせている位置
・てこを使ってものを持ち上げるときは，
支点から力点までの長さが（　長い　・　短い　）ほど，
支点から作用点までの長さが（　長い　・　短い　）ほど，
小さな力で持ち上げることができる。